



2団体に社会公益賞

神戸キワニスクラブ

社会奉仕団体「神戸キワニスクラブ」(中後和子会長)は、各分野で活躍した個人や団体に贈る社会公益賞の贈呈式を神戸市内で開かれた。

こゆびの会は昭和55年に伊丹市で設立。小学生を対象とした手話教室でメンバーが講師を務めるなどし、40年以上にわたり手話を通じた地域社会への貢献を続けてきた。

日越交流センター兵庫は、日本とベトナムの交流を発展させるために活動するNPO法人。留学生や技能実習生などの在日ベトナム人を対象に、相談や食料品提供など幅広い支援活動を行っている。

7日の贈呈式では、受賞者代表としてこゆびの会の柳原孝子会長(66)があいさつし、「幼いころから手話に自然と触れて、交流があれば、手話に関心が持てる。活動が認められ、うれしく誇らしく思う」と謝意を示した。

神戸キワニスクラブは昭和45年に発足。長年にわたって各分野で活躍した個人や団体を表彰している。